

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 23 年 1 月 20 日 (2011.1.20)

【公開番号】特開 2009-126091 (P2009-126091A)
 【公開日】平成 21 年 6 月 11 日 (2009.6.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-023
 【出願番号】特願 2007-304604 (P2007-304604)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/44 (2006.01)

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

H 0 4 N 1/113 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/00 M

G 0 2 B 26/10 A

H 0 4 N 1/04 1 0 4 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 11 月 26 日 (2010.11.26)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 画素を予め設定された整数値で分割した補助画素に対応する補助画素データを生成する補助画素生成手段と、前記 1 画素に対応する複数の補助画素データに対して前記補助画素データを追加もしくは削除した画素データに基づいて、レーザ光の発光パターン信号を生成する発光パターン生成手段とを有する光走査装置において、

画像クロックに従って前記発光パターン生成手段から出力される発光パターン信号の周期を変更するために、1 画素に対応する複数の補助画素データに対して前記補助画素データの追加もしくは削除を所定の走査期間において部分的に行う手段を備えたことを特徴とする光走査装置。

【請求項 2】

前記補助画素データの追加と削除は交互に行うことを特徴とする請求項 1 に記載の光走査装置。

【請求項 3】

前記所定の走査期間において前記補助画素データの追加と削除をそれぞれ等しい数で行い、画像データの倍率に応じて、さらに前記補助画素データの追加もしくは削除を行うことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の光走査装置。

【請求項 4】

所定数の画素で構成されるブロックの中で、前記補助画素データの追加と削除をそれぞれ等しい数で行い、前記ブロック間の倍率に応じてさらに前記補助画素データの追加もしくは削除を行うことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の光走査装置。

【請求項 5】

前記補助画素データの追加と削除は、走査ライン毎に異なる位置で行うことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の光走査装置。

【請求項 6】

前記補助画素データの追加と削除は、走査ライン毎に同じ位置で行うことを特徴とする

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の光走査装置。

【請求項 7】

前記発光パターン信号がオンデータのとときに前記補助画素データの追加と削除を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の光走査装置。

【請求項 8】

前記発光パターンがオフデータのとときに前記補助画素データの追加と削除を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の光走査装置。

【請求項 9】

1 画素を予め設定された整数値で分割した補助画素に対応する補助画素データを生成する補助画素生成手段と、前記 1 画素に対応する複数の補助画素データに対して前記補助画素データを追加もしくは削除した画素データに基づいてレーザ光の発光パターン信号を生成する発光パターン生成手段と、前記発光パターン信号に基づいてレーザ発光手段を駆動するレーザ駆動手段と、前記レーザ発光手段から照射されたレーザ光によって潜像を形成する像担持体とを有する画像形成装置において、

画像クロックに従って前記発光パターン生成手段から出力される発光パターン信号の周期を変更するために、1 画素に対応する複数の補助画素データに対して前記補助画素データの追加もしくは削除を所定の走査期間において部分的に行う手段を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 10】

前記画像データは、複数の色にそれぞれ対応した画像データであって、前記像担持体は、複数の色毎に潜像を形成する構成とし、

前記補助画素データの追加と削除は、各色毎の画像データにおける同じ位置で行うことを特徴とする請求項 9 に記載の画像形成装置。

【請求項 11】

1 画素を予め設定された整数値で分割した補助画素に対応する補助画素データを生成する補助画素生成手段と、前記 1 画素に対応する複数の補助画素データに対して前記補助画素データを追加もしくは削除した画素データに基づいてレーザ光の発光パターン信号を生成する発光パターン生成手段とを有する光走査装置の制御方法であって、

画像クロックに従って前記発光パターン生成手段から出力される発光パターン信号の周期を変更するために、1 画素に対応する複数の補助画素データに対して前記補助画素データの追加もしくは削除を所定の走査期間において部分的に行うことを特徴とする光走査装置の制御方法。

【請求項 12】

1 画素を予め設定された整数値で分割した補助画素に対応する補助画素データを生成する補助画素生成手段と、前記 1 画素に対応する複数の補助画素データに対して前記補助画素データを追加もしくは削除した画素データに基づいてレーザ光の発光パターン信号を生成する発光パターン生成手段とを有する光走査装置の制御方法を実現するための、コンピュータで読み取り可能なプログラムであって、

画像クロックに従って前記発光パターン生成手段から出力される発光パターン信号の周期を変更するために、1 画素に対応する複数の補助画素データに対して前記補助画素データの追加もしくは削除を所定の走査期間において部分的に行うステップを備えたことを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

図 6 (a) は、画素片が挿入されていない場合であり、5 ~ 8 に格納されていたデータ D1 (3 ~ 0) が 1 ~ 4 にシフトし、新たに変換回路 44 から出力されたデータ D2 が 5

~ 8 に格納されたところを示している。